



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.2 (83)

2011.2.28

如月には、「早春」、「浅春」、「春淡し」、「春浅し」などの季語があり、春を待つ風情が漂っています。ただし、最近の「地球」規模の動きには地震や情報ネットワークの力による「民主化」の嵐など、過激なニュースが飛びかっています。何となく落ちつかない感じですが、平成22年度も残り1カ月となり、この1年間の成果と課題をまとめる時期になりました。平成22年度の実績につきましては『平成22年度事業報告書』に要約いたしますが、ここでは、最近の1カ月の歩みをご報告いたします。

1 (1)定例研究会[東京]2011-1-28 が以下のプログラムのもとで開催されました [敬称略]。

日時：2011年1月28日(金) 13時30分～17時00分

会場：ノバルティスファーマ オンコロジー事業部 高和ビル 1F 1F room1-4

演者・演題：

五十川直樹. モデル選択におけるBPICと予測点検確率の比較について.

大江基貴. 平滑化ROC曲線.

丸尾和司. ベキ正規分布のパラメータ推定：進捗報告.

伊藤雅憲. 国際共同治験における地域差について.

尼ヶ崎太郎. 最近の勤行について.

山邊太陽. 対称化変化率と変化率の比較：分散の比較を中心に.

後藤昌司. 計画と遂行の過程：2011年を迎えて.

なお、課題検討会も「富くら」にて開催され、12名の方々が参加され、2011年にかかる抱負や最近の臨床評価の過程における諸種の問題点などに議論が沸騰しました。



定例研究会[東京]2011-1-28 でのひとこま

(2)定例研究会[東京]2011-2-24 が以下のプログラムのもとで開催されました[敬称略].

日時：2011.2.24. (木). 13:30 ~ 17:00

会場：キャンパス・イノベーションセンター 5F ラウンジ

演者・演題：

五十川直樹. 臨床試験における安全性評価.

丸尾和司. ベキ正規分布のパラメータの推測.

山邊太陽. 2変量ベキ正規分布に基づくSPCとPCの統計的性質(続き).

藤澤正樹. 相関回帰解析の過程.

下川敏雄. ルール・アンサンブル法の拡張について.

後藤昌司. 最近の統計相談・技術指導から.

課題検討会は「道灌」で開かれ、6名の方々が参加され、近況に伴う遊学の話で盛りあがりま
した。次回は、2011年 3月17日(木)に今回と同一会場にて開催されます。



定例研究会[東京]2011-2-24 でのひとこま

2 前号でもお知らせしましたが、平成 22 年度特定主題シンポジウム「国際共同治験における事例研究と統計的諸法」が 2011 年 1 月 29 日(土)にアステラス製薬(株) 東京本社別館 信和ビル 6 階会議室にて開催されました。詳細なプログラムは、前号に譲り、ここでは、当日にご参加いただいた方々からの感想やご意見を以下に抜粋してご紹介いたします。これらの「声」をお寄せいただいた方々に、お礼を申し上げます。

-
- ・ 事例や理論の紹介、製薬企業と当局から発表された最新の論文の要旨をまとめて、討論に提供されたことなど、実際的な観点から非常に有益なシンポジウムでした。・・・I・T
 - ・ 大変に啓発的な盛り沢山の内容で勉強になりました。冊子にない資料で講演されたものは、改めて資料をいただけるとありがたいのですが、無理でしょうか。・・・W・D
 - ・ 国際共同治験の事例と統計手法については、今後に弊社でも問題となる内容でしたので大変に参考になりました。今後は、日本主導で国際共同治験をすすめるためにはどうするかも議論してほしいと思います。また、国際共同治験について他国の状況を具体的に知りたいと思います。開発の各段階のボーダレス化の方向性 (アダプティブ試験など)、統計手法、PK 試験の母集団解析の役割 (国際共同治験の時代に)、ANCOVA の統計手法としての問題点などの主題についても今後にシンポジ

ウムを開催して欲しい. T・T
 ・下川敏雄先生のお話しは、いつも後半部分で走られて一番お聴きしたいところがカットされるので、もう少し時間配分していただくと勉強になります。土曜日の開催なので会社の仕事を気にせずに参加できます。お世話くださる皆様に感謝いたします。帰阪の時間があり、途中退席となり申し訳ありません. H・M



特定主題シンポジウムでのひとこま

お礼：本シンポジウムに貴重な時間を割いてご参加いただいた方々、および講師の坂谷泰史、池田公俊、下川敏雄、関根恵理、河合統介、安藤友紀、小野俊介の先生方にお礼を申し上げます。また、藤澤正樹さんと伊藤雅憲さんには、本シンポジウムの組織者として、そしてパネルディスカッションの進行役としてお世話になりました。重ねてお礼を申し上げます。さらに、座長の労をとっていただいた猪俣智一さんと魚井 徹さんさんにお礼を申し上げます。本シンポジウムは、国際共同臨床研究(試験と治験を含む)に関する主題で、3回目の開催となりました。本シンポジ

ウムの開催の意義と価値に共鳴され、陰で支えていただいているのが廣岡秀樹さんを始めとする、アステラス製薬㈱のお仲間の方々、東海林 信吾さん、吉田 哲さん、武田 健太郎さん、中島吉弘さんです。ここに記して深甚の謝意を表します。国際化の波は、臨床研究以外の他の分野でも日本の独自性や独創性に影を落としています。日本独自の創薬や育薬が結実することを期待して、本シンポジウムを続けることの意義を強く感じています。今後とも皆様とともに、本主題に関するシンポジウムを続けていきたいと考えております。今後ともよろしく願います。

事務局一同・後藤昌司

3 (1)前号でもお知らせしましたが、平成 22 年度特定主題セミナー「臨床検査値の変動と評価」が以下の次第で開催されます[敬称略]。

日時：2011 年 3 月 12 日(土) 10 時 00 分～16 時 15 分

会場：大阪大学 大学院基礎工学研究科 J 棟 617 号室

開会挨拶：白旗慎吾。 座長：坂本 亘・勘場 貢。 閉会挨拶：松原義弘。

講師：

向井満利。臨床検査値の役割：その実際的観点(仮)。

大江基貴。ROC に基づく臨床検査値の評価。

五十川直樹。臨床試験における安全性評価。

丸尾和司。臨床検査値の参照範囲：その根拠と評価。

組織者：坂本 亘・越智義道・後藤昌司。

(2) 前号でもお知らせしましたが、「平成 22 年度第 3 回理事会」を開催いたします。日時と会場のみを再掲いたします。

日時：2011 年 3 月 12 日(土) 16 時 30 分～17 時 00 分

会場：大阪大学 大学院基礎工学研究科 J 棟 617 号室 (ディスプレイ室)

当日には、上記 3 (1) の特定主題セミナー 2011「臨床検査値の変動と評価」が開催されています。両方の会合に併せてご出席いただくと幸いです。

(3) 既に会員各位にご連絡していますように恒例の SPRING・フォーラム 2011 が以下の次第で開催されます。

日時：2011 年 4 月 2 日(土)。12 時 30 分～17 時 30 分。

場所：大阪大学 豊中キャンパス「浪高庭園」。

開会の挨拶：河合統介。 閉会の挨拶：藤澤正樹。

特別講演 [話題提供]：木田義之・古賀 正・磯村達也・志賀 功。

会員相互の親睦と、自由闊達な意見交換の場ですので、多くの方々にご参加いただくと幸いです。よろしく願います。

4 本研究会の連携活動を以下に記します。

大分統計談話会・第43回大会が2011年2月17日(木)～18日(金)に富士通大分システムラボラトリー・AVホール2階にて開催されました。約50名の方々が参加され、大変に啓発的な話題で盛り上がりました。とくに、特別講演として竹田市市長・首藤勝次先生と九州大学教授・林篤裕先生のお話は、大変に時宜をえた素晴らしい内容でした。首藤先生の紹介された「有由有縁」や”TOP:Try,Project,Only-one”の主張は大変に啓発的でした。また林先生のAO入試に独自性と挑戦意欲を喚起する話は、大学教育の現場での新鮮感を訴求するに十分でした。さらに、これまで大分統計談話会と本研究会を率先して指導・支援されてきた、柴田義貞先生が「古稀」を、また、同じく草場茂喜さんが還暦を迎えられたことを記念して、講演をはじめとする「お祝い」の行事がありました。なお、第44回大会は以下の次第で開催されます。半年以上先のことですので、予定に書き入れていただくと幸いです。

日時：2011年10月13(木)～14日(金)。

会場：富士通大分システムラボラトリー・AVホール2階。





大分統計談話会でのひとこま

- 5 平成 22 年度会費納入のお願い：日頃からいろいろとご支援いただいている会員の皆様に改めて申しあげることが憚られますが、平成 22 年度(2010.4.1～2011.3.31)会費未納の方々には、早急に納入していただくようお願い申しあげます。医学統計研究会は特定非営利活動法人として、あくまでご本人の「自主性」と「志」を重視していますので、よろしく願いいたします。

Newsletter 編集：

後藤昌司・栗林和彦・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲

連絡先：医学統計研究会 事務局 [亀山 日名子・後藤 孚・山口祐介・大山秀輔・横山隼人・吉川隆範]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax : 06-6835-8790 / e-mail : bra_goto@ybb.ne.jp / URL: <http://www.bra.or.jp>

本ニュースレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。